

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	15HP2032	事業期間	平成 27 年度～平成 31 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
オープンアクセス刊行の充実と電子投稿・電子審査等の活用により、国際情報発信力を強化する取組		公益社団法人 日本食品科学工学会	会長 高野 克己
学術刊行物の名称			(略称)
Food Science and Technology Research			FSTR

【平成 29 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>「食」に関連する広範な学術領域を包含するユニークな英文学術誌として、順調に当初の目標を達成しつつあると判断する。論文全文の XML・PDF データのオンライン公開により、アクセス数・ダウンロード数を増加させ、オンライン投稿・審査システムの活用により論文の審査期間短縮も達成した。招待レビュー論文掲載は、インパクトファクター向上には効果的な施策であるが、本当に重要なのは如何に一般投稿論文の質を上げるかである。海外からの投稿論文数は増加しても、その採択率は年々下がっている。これでは国際誌としての学術的な価値が高まったとは言えない。有力な海外研究者を編集委員に迎え、質の高い論文の投稿を増やしていくといった着実な対策が望まれる。</p>	